



くすのき

令和2年11月18日



「火災避難訓練の様子」

秋も深まり、朝夕の冷え込みも厳しくなるこの頃ですが、みなさま方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。先日の学習発表会は、多くの保護者のみなさまにご来校いただき、ありがとうございました。
10月26日（月）の5時間目に、火災避難訓練が行われました。知多南部消防本部より2名の講師をお迎えし、あかね学級より火災が発生したという想定で行いました。児童は、鼻や口をハンカチ等で押さえながら、静かに避難することができました。その後、1～4年生は煙体験を、5・6年生は救助袋降下体験を行い、訓練を終了しました。

福祉実践教室（4年） 10/28（水）

28日（水）の5・6時間目に、4名の講師をお招きし、4年生が福祉実践教室（肢体不自由）を行いました。始めに、講師の鈴木正義様より自己紹介があり、ご自分の生い立ちや趣味などについてお話をされました。その後、講師の先生が日常生活で使用している車椅子を使って、障害物のある廊下を一人一人体験したり、来年行われる予定の東京パラリンピックの実施種目にもなっている「ボッチャ」を、一緒に楽しんだりしました。子どもたちは、初めての車椅子体験に戸惑いながらも、講師の方に助けてもらいながら、関心をもって真剣に取り組んでいました。

授業後の振り返りでは、「町などで困っている方を見かけたら、『お手伝いしましょうか』と声をかけたい」などの感想が出され、障害者に対する理解を深めることができました。



ペットボトルロケット打ち上げ大会（青育会）

10/31（土）

秋晴れの下、第22回ペットボトルロケット大会が大井小学校のグラウンドで開催されました。当日は13名の参加者があり、親子の部、高学年の部に分かれて、自作のペットボトルロケットを打ち上げ、その飛距離を競い合いました。

その結果、親子の部で、坂下ひな（4年）・香奈恵親子が41.6メートルで、高学年の部で、竹味蒼馬くん（6年）が39.6メートルで第1位となり、豪華賞品を獲得しました。今回は、コロナ禍の中での大会となりましたが、大空めがけて飛んでいくペットボトルロケットを見ていると、新型コロナウイルス感染症も吹き飛ばしてくれるような勢いがありました。早い収束を願います。



ボランティアの方の読み聞かせ 11/12（木）



学年	本の題名	読んでいただいた方
1年生	「ぼくのジちゃん」	山下 かず代さん
2年生	「ピンクペッコ」	山下 満由美さん
3年生	「ナイツザール」	中林 洋子さん
4年生	「ヘレンケラー」	渡辺 悦子さん
5年生	「なっちゃんとぼく」	間瀬 桂子さん
6年生	「トラネコとクロネコ」	滝本 陽子さん

学習発表会 11/14 (土)



1年「くじらぐも」



2年「スーホの白い馬」



3年「三年とうげ」



4年「ごんぎつね」



5年「新ハレトーク～地球環境についてもっと考えよう芸人～」



6年「感謝～あたりまえの生活～」

《12月の予定》

1	火	
2	水	6年修学旅行
3	木	6年修学旅行
4	金	ALT
5	土	
6	日	
7	月	朝会 委員会 40分授業
8	火	個人懇談会 40分授業
9	水	個人懇談会 40分授業
10	木	代表委員会
11	金	ALT
12	土	
13	日	
14	月	朝会 クラブ
15	火	薬物乱用防止教室(6年)
16	水	
17	木	
18	金	ALT
19	土	
20	日	
21	月	朝会なし
22	火	給食終了
23	水	2学期終業式
24	木	冬季休業
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	大晦日

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、保護者のみなさまには、入場制限を始め、マスクの着用、手指消毒等でご不便をおかけいたしました。本当に多くの保護者のみなさまにご来校いただき、また、子どもたちの演技に温かい拍手を送っていただき、誠にありがとうございました。コロナ禍での学習発表会はいかがだったでしょうか。

1年生の「くじらぐも」は、演技の端々に、新型コロナウイルス感染症対策を意識した動きが見られました。中でも、フラフープの中でのラジオ体操の演技は、一人一人が動く度に、笑みがこぼれてきました。また、自作の「くじらぐも」は、本当に空に浮かんでいるかのようなようでした。

2年生の「スーホの白い馬」は、スーホが家族のように大切にしていた白い小さな子馬が弓で打たれて倒れるシーンの演技が圧巻で、見ている人の涙を誘うほどの演技力には驚きました。

3年生の「三年とうげ」は、「三年とうげで転んでしまうと、三年しか生きられない」という言い伝えを信じるおじいさんの、恐怖に満ちた話し方や動きに感動しました。また、子どもたちの息の合った、テンポのよい「三年とうげで転んだならば……。」の繰り返しは、発表が終わった後も耳に残りました。

4年生の「ごんぎつね」は、国語の授業で、4年生みんなで考えたという「ごん」の気持ちを劇に生かしての発表でした。劇の中で問われた「ごん」の性格を考えると、本当はやさしく、思いやりのあるキツネではないでしょうか。保護者のみなさんは、どう考えられますか？

5年生の「新ハレトーク～地球環境についてもっと考えよう芸人～」は、地球環境が問題視されている昨今の状況を、今話題の芸人たちが代弁するという形での発表でした。いつもテレビ画面を通して見ている芸人さんたちが代弁することで、地球環境問題を自分事として考えるよい機会となりました。しかし、どの児童も、あの長い台詞を、短い練習期間の中でよく覚えたなど感心しました。

6年生の「感謝～あたり前の生活～」は、コロナ禍以前の何気ない学校生活を振り返ることで、今まではあたり前と思っていたことができない現状と比較し、改めて、あたり前のことができることに感謝をし、今、自分たちに何ができるのかを発表してくれました。ところで、最後の手洗い動画は、私たちには、少し難しかったです。

とにかく、どの学年も、本当にすばらしい発表でした。！！